

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	キャリアデザイン2	
科目基礎情報					
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数	15時限
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	高澤 敦博		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
ビジネス著作権検定（Basic）受験し、資格取得することを目的とすることにより、学び・理解を深める必要性を意識できるようにすること。また、身近にある演劇・映画との関連性を通して、より学ぶ意欲を持つこと。					
到達目標					
ビジネス著作権検定（Basic）受験、合格すること。 著作権の全体像を把握し、携わる作品に発生する権利を理解する。 学内で行われる卒業公演、修了公演に発生する著作権を身近なものとして捉え、舞台スタッフとしても把握が必要な著作権を知り、理解を深めていくことを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	ビジネス著作権検定BASIC、公式テキストを使用し、著作権について学び、理解できるよう実例を挙げながら授業を行う。 基礎から演劇・映画の著作権を学ぶことによって、自分達の将来につながることを意識できるような授業内容である。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	職務著作		職務著作のルールを学ぶ		
2回	著作隣接権1		実演家人格権と実演家の権利を学ぶ		
3回	著作隣接権2		無線放送事業者、有線放送事業者の権利を学ぶ		
4回	著作隣接権3		レコード製作者の権利を学ぶ		
5回	著作権の保護期間1		権利の保護とそれぞれの期間の違い		
6回	著作権の保護期間2		「ローマの休日裁判」1953年公開映画について		
7回	自由利用規定1		著作物を許諾なく利用できるルールを学ぶ（私的使用、非営利、図書館）		
8回	自由利用規定2		著作物を許諾なく利用できるルールを学ぶ（引用、学校教育、報道）		
9回	自由利用規定3		著作物を許諾なく利用できるルールを学ぶ（その他）		
10回	保護の対象とならない著作物		法律など保護の対象とならない理由と種類を学ぶ		
11回	侵害にたいする措置と罰則		侵害にたいする措置と罰則を知る		
12回	著作権法の周辺知識		著作権法の周辺知識を知る		
13回	世界の著作権法		国際条約や各国の著作権の考え方の違いを学ぶ		
14回	法律の改正部分の確認		過去の大きな改正と意味合いを学ぶ		
15回	ビジネス著作権検定受験に向けて		練習問題を解く、答え合わせによって知識を深める		